

各地の話題 七ヶ宿町

風土の強みを付加価値に 町に新たな認定新規就農者

2025年10月17日号掲載



令和7年9月30日に町の認定新規就農者となった境政行さんは、林業を経て令和2年9月から就農した。現在は約1.5畝の畑でブルーベリーやトウモロコシ、ジャガイモなど、町の冷涼な気候を活かした栽培に取り組んでいる。

「最初は土づくりから地元の先輩農家に教わっていた。ようやく収穫までこぎつけられた」と境さん。町内は昼夜の寒暖差が大きいため、糖度の高い野菜が育ちやすい環境だ。

ジャガイモは、雪の冷気を利用した貯蔵庫「雪室」で貯蔵したものを「雪室ジャガイモ」として販売している。気温2度・湿度90%に保たれた倉庫内で貯蔵されたものは、鮮度が保たれ甘みが増すといわれており、境さんは「町内外のお客様から高い評価を得ている」と話す。収穫した野菜は、町の道の駅や仙台市内等で販売している。

今後はハウス栽培にも挑戦する予定で「若い世代にも農業の魅力を伝えながら、地域に根ざした農業を続けていきたい。ブルーベリーも植え付けから3年目を迎え、ゆくゆくは観光農園を目指す」と意気込む。

【記事提供】 七ヶ宿町農業委員会

認定書を手に境さん

